



現場リーダーの「善い」目的や思いを起点とした共創の場づくりとしての「横の関係」と、目的や思いを実現する集合的な

実践力としての「縦の関係」の組み合わせによって、「知識の創造と実践」(イノベーション)が実現できると同書はいう。

そして、誰もが、ただ気がついていない膨大な暗黙知を解き放つことによって形式知を創ることができ、その相互変換のプロセスを無限に続けていくことで、次々と新たな知を創ることができると主張する。

旭川市旭山動物園については、横の関係を「動物たちの命の輝き」を伝えたいという思いを実現する行動・共生展示、縦の関係を来園者の五感に伝える飼育員の試行錯誤と創意工夫をやり続ける現場力とする。株式会社リブネットの学校図書館運営サ

野中郁次郎、西原文乃 著

1944円 日経BP社
☎03-5696-6000



イノベーションを起こす組織
革新的サービス成功の本質

ポートについては、横の関係をより良い読書経験の提供を通じて子供たちの考える力や感じる力を育み、次世代人材を育成したいという強い思いによって形成された多様な人間関係、縦の関係をあらゆる関係性を動員して学校図書館運営をシステム化し、それを継続して発展させる合理的かつ大胆な行動力とする。

評者は次のように考える。

「善い」目的、形式知と暗黙知の相互変換など、教育が目指すべき価値としても重視すべき提案だろう。だが、異なる価値観をもつメンバーが共存する組織・集団で目的を共有し、実現させるリーダーとしての意欲や能力はどう養えばよいのか。「管理職になりたくない」という若者や壮年が増えているなかで、今の若者のモデルたりうるリーダーの暗黙知の臨時的な追究が、若者との「横と縦の関係」による価値創造につながるに違いない。

(聖徳大学教授・西村美東士)